

特集2 教育改革を進めています

熊本県では、「熊本県教育改革大綱」(平成12年度策定)をもとに、教育改革を進めています。今回の特集では、その一部をご紹介します。

県内すべての小学校1年生に、35人学級を導入しました

●なぜ35人学級なの？

小学校1年生は、義務教育がスタートする大切な時期です。教師と子ども、あるいは子ども同士が親密な関係の中で、子どもたちに基本的な生活習慣や学習習慣を身に付けさせることができます。

【これまでの40人学級が35人学級になったら…(1学年80人の場合)】

40人学級

1組 40人
2組 40人

35人を超えない
クラス編制になります

35人学級

1組 27人
2組 27人
3組 26人



●35人学級にはどんなことが期待されるの？ — 既に導入した県の意見から —

子どもの声

- ・先生と話す時間が増えた。
- ・勉強が分かるようになった。

保護者の声

- ・子どもに基本的な生活習慣や学習習慣が定着してきた。
- ・子どもに活躍の場が増え、生き生きと学校生活を送っている。

教師の声

- ・指導がきめ細かく行き届くようになった。
- ・子どもに接する時間が増え、学級に落ち着きを感じられる。

学校評議員制度で「開かれた学校づくり」を進めています



この制度は学校が保護者や地域の意見を広く聞き、特色ある教育活動を行うためのものです。

学校から、情報を発信したり、地域の方々からの意見を取り入れたりすることで、開かれた学校づくりを進め、学校運営の改善につなげようと考えています。

- ①「学校評議員」は、校長の求めに応じ、学校の運営に対して意見をいただく保護者や地域の方々です。
- ②県立学校において、平成15年度に導入校を10校から40校に拡大しました。また、小・中学校においても、現在265校に導入されています。

「肥後っ子がやきプラン」に基づき、就学前教育を進めていきます

「肥後っ子がやきプラン」とは、乳幼児期の子どもたちが、たくましく心豊かにかがやきながら育つためのより良い環境づくりを目指した、小学校入学前の子どもたちの教育を進める計画です。

〈具体的な取り組み事例〉

- ・保育所・幼稚園・小学校の先生の合同研修会などを行います。
- ・家庭教育や子育てについての学習や相談の機会を設けます。
- ・市町村、就学前教育関係機関、子育てボランティアやNPO(民間非営利組織)などの連携を推進し、子どもたちと温かな関わりができる地域社会の環境づくりを進めます。



お問い合わせ先

熊本県学校人事課 小・中学校人事班
☎096-383-1111 (内線6674) FAX096-383-3915
電子メール gakkoujinji@pref.kumamoto.lg.jp

熊本県義務教育課 義務教育指導係・幼児教育班
☎096-383-1111 (内線6786) FAX096-385-6718
電子メール gimukyoku@pref.kumamoto.lg.jp